

令和8年度 静岡県における国有林野事業の重点取組事項



減容化処理容器の現地検討会
(富士山国有林：静岡署)



データマツ天然更新状況
(霧山第一国有林：天竜署)



伊豆地域労働基準監督署合同安全指導会議
(湯ヶ島国有林：伊豆署)



金沢（山腹工）
(静岡市井川湖上流区域：大井川治山センター)



林野庁 関東森林管理局

静岡森林管理署・天竜森林管理署・伊豆森林管理署
大井川治山センター

静岡県内の国有林の概況

- 静岡県の県土面積約78万haのおよそ3分の2の約50万haが森林であり、そのうちのおよそ2割の約9万haが国有林となっています。静岡県は、気候が温暖で雨量が多いことから、樹木の生長が良好であり、古くから美林の多いところと言われています。
- 県内の国有林は、天竜川、大井川、安倍川、狩野川の各河川上流域、富士山、浜名湖周辺等に広がっており、その多くは地形の急峻な奥山や水源地域に分布しています。このため、その大部分を国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全等を目的とした保安林に指定しているほか、貴重な森林生態系を有している森林については「南アルプス南部光岳（てかりだけ）森林生態系保護地域」、「富士山生物群集保護林」、「八丁池・皮子平（はっちょういけ・かわこだいら）生物群集保護林」等の保護林に指定しています。
- 県内の国有林は、静岡、天竜、伊豆の3森林管理署が以下の方針により管理経営しています。
 - 公益重視の管理経営の一層の推進を図るため、国有林を山地災害防止、水源涵養、自然維持等の重視すべき機能に応じて区分し、公益林として計画的な森林整備等を推進。また国民の安全・安心の確保に向けた治山対策や森林生態系の保護・管理による生物多様性の保全等を推進。
 - 森林・林業施策全体の推進への貢献として、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を実現する「新しい林業」の実現に向け、国有林の組織・フィールドを活用した林業の省力化・低コスト化の実証・普及を推進。また、地域の林業・木材産業の活性化に貢献するための木材の安定供給、民有林との連携による効率化・低コスト化を図る一体的な森林整備の推進。
 - 国民の森林（もり）として、「レクリエーションの森」の活用、国民参加の森林づくり、森林環境教育等の推進や国有林に関する情報受発信。
- 3署による国有林の管理経営のほか、大井川治山センターを設置し、大井川源流域の民有林において、大規模な崩壊地の復旧を国の直轄事業として行っています。



1 公益重視の管理経営の一層の推進

国土保全、水源涵養等の重視すべき機能に応じた管理経営を通じて、地域特有の景観や豊かな生態系の保護・管理等を行います。また、国民の安全・安心を確保するため、自然環境保全等への配慮に努めながら、治山事業による荒廃地の整備や災害復旧等に取り組みます。

- ① 重視すべき機能に応じた管理経営の推進
- ② 国民の安全・安心の確保に向けた治山対策等の推進
※木材利用含む
- ③ 森林生態系の保護・管理

2 森林・林業施策全体の推進への貢献

主伐期を迎える中で伐採、再造林が増加しており、造林のコスト低減、効率的・効果的なシカ被害対策、効率的な木材生産等を通じた林業の採算性の向上に取り組みます。あわせて、地域の林業・木材産業の活性化に貢献するため、木材の安定的・計画的な供給に取り組みます。

- ① 「新しい林業」を目指した取組の推進
※獣害対策含む
- ② 木材の安定供給
- ③ 民有林との一体的な森林整備の推進

3 国民の森林（もり）としての管理経営

開かれた「国民の森林」として、「レクリエーションの森」の活用、国民参加の森林づくり、森林環境教育等の推進や国有林に関する情報受発信等を通じた、森林・林業に関するサービスを提供します。

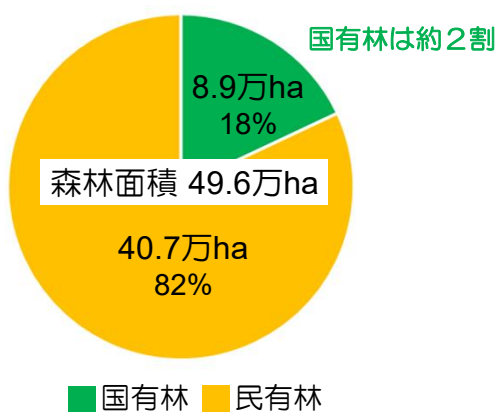
- ① 「レクリエーションの森」の活用の推進
- ② 国民参加の森林づくり、森林環境教育の推進
- ③ 国有林野事業の推進に関する情報受発信

1 公益重視の管理経営の一層の推進

① 重視すべき機能に応じた管理経営の推進

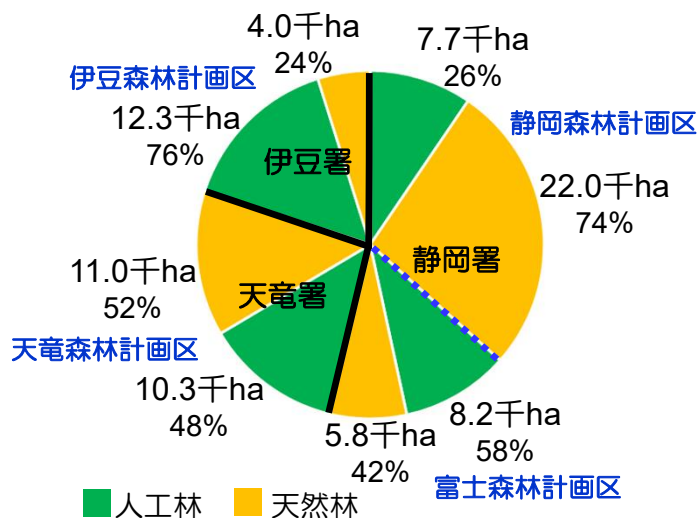
- 静岡県内の国有林は、県内の森林面積の約2割を占めています。また、人工林のうち利用期を迎えた50年生以上が7割を超えており、充実した森林資源を循環利用していくため、人工林の主伐・再造林（森林の若返り）を計画的に進めます。
- 県内の4森林計画区（静岡、富士、天竜、伊豆）において、5年ごとに10年を一期とする地域別の森林計画、5年ごとに5年を一期とする地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画を樹立・策定しています。計画の策定に当たっては、地域の皆様から御意見・御要望をいただきながら策定を進めます。
- 自然条件等を踏まえ、広葉樹林化など多様な森林づくりを進めます。

静岡県内の森林面積

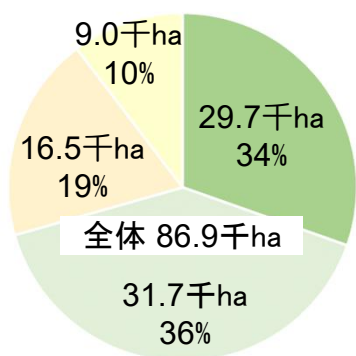


森林資源の現況（静岡県）
令和4年3月31日現在における森林資源の現況
※国有林面積は、林野庁所管以外の国有林を含む。

静岡県内の国有林面積（林野庁所管）



静岡県内の国有林野の機能類型



■ 山地災害防止タイプは、災害に強い国土基盤を形成する観点から、山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とする森林



千頭山国有林（静岡署：川根本町）

■ 水源涵養タイプは、良質な水の安全供給を確保する観点から、水源涵養機能の発揮を第一とする森林



白倉国有林（天竜署：浜松市）

■ 森林空間利用タイプは、国民の皆様憩いと学びの場等を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致を構成する観点から、保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林



猫越岳火山湖（伊豆署：松崎町）

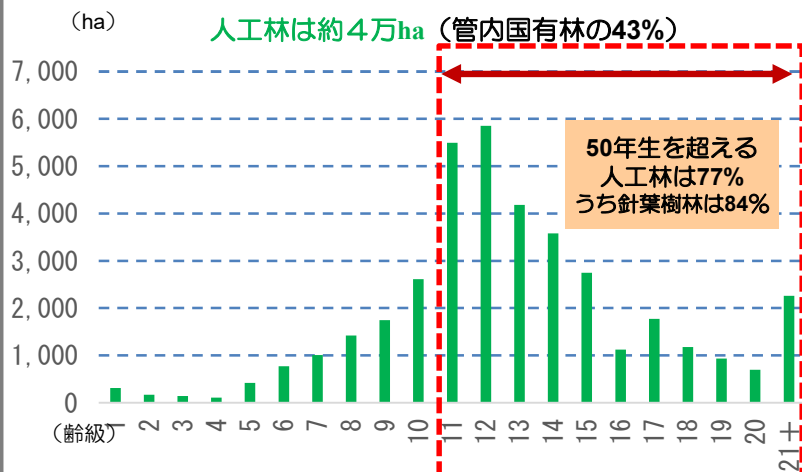
■ 自然維持タイプは、生態系として森林の重要性を踏まえた観点から、原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など、生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林



大井川源流部原生自然環境保全地域（静岡署：川根本町）

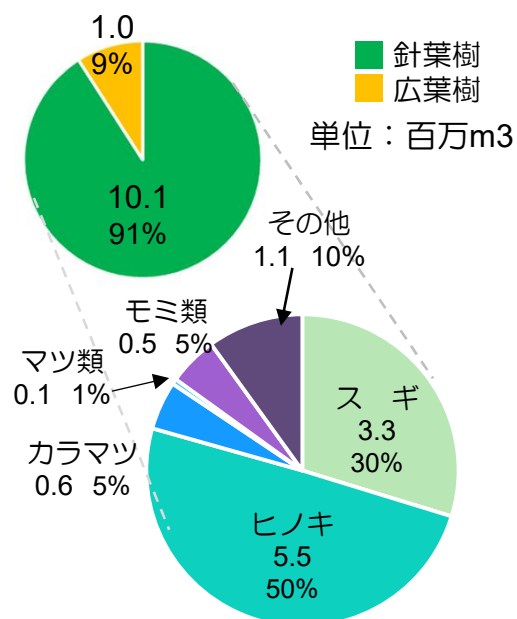
静岡県内の国有林資源

(人工林の齢級別面積)



注：齢級（人工林）は、林齢を5年の幅でくくった単位。苗木を植栽した年を1年生として、1～5年生を「1齢級」と数える。

(人工林の樹種別材積)



人工林の主伐・再造林（充実した森林資源の循環利用）

人工林の多くは利用期を迎えており、森林の整備に当たっては、充実した森林資源を積極的に活用しながら、計画的に再造成を行い、森林の有する多面的機能の発揮を図ることが重要となっております。これにより森林の若返りが図られます。

立木販売（皆伐）実績面積

森林管理署	令和6年度	令和7年度
静岡署	54ha	10ha
天竜署	12ha	22ha
伊豆署	0ha	0ha
総 数	69ha	31ha

※販売年度と伐採年度は一致しません。

花粉対策苗の植栽、樹種転換による対策

静岡県における国有林では、花粉の少ない森林への転換に取り組んでいます。スギ及びヒノキの苗木は、すべて花粉の少ない苗木（※）を導入しています。

※無花粉、少花粉、低花粉、特定苗木。

○ 植栽予定本数 単位：万本

樹種	森林管理署			計
	静岡	天竜	伊豆	
スギ	1.7	2.5	2.1	6.3
ヒノキ	9.9	1.7	0.6	12.2
カラマツ	0.1	—	—	0.1
テーダマツ	0.3	—	—	0.3
広葉樹	0.9	—	—	0.9
計	12.8	4.2	2.7	19.7

（注）四捨五入の関係で計は一致しない。



スギ



ヒノキ



テーダマツ

② 国民の安全・安心の確保に向けた治山対策等の推進

- 近年、頻発する集中豪雨や地震等により山地災害の発生リスクが高まっていることに加え、静岡県内には、中央構造線等の影響を受け、もろく急峻な地形・地質の山地が多いことから、自然災害による被害の復旧や災害の防止・軽減を図るための治山事業を実施し、地域の人々の生活と安全を守ります。

令和8年度 治山工事実施予定（県内で34箇所を予定）

森林管理署等	市町村	民国	工種	予定数量
静岡署	静岡市	国有林	山腹工	0.10ha (1箇所)
			地すべり防止工	0.10ha (1箇所)
	富士宮市	国有林	溪間工	1.0基 (1箇所)
	小山町	民有林	溪間工	3.0基 (2箇所)
			山腹工	1.88ha (10箇所)
		国有林	溪間工	1.0基 (1箇所)
			山腹工	0.21ha (1箇所)
天竜署	浜松市	国有林	山腹工	0.17ha (1箇所)
			運搬路（補修）	325m (1箇所)
	森町		山腹工	0.20ha (1箇所)
伊豆署	河津町	国有林	溪間工	1.0基 (1箇所)
			山腹工	0.40ha (3箇所)
大井川 治山センター	静岡市	民有林	溪間工	新設1.0基 (1箇所) 補修2.0基 (2箇所)
			山腹工	0.36ha (2箇所)
	川根本町	民有林	山腹工	0.86ha (5箇所)
県内合計		民有林	溪間工	6.0基 (5箇所)
			山腹工	3.10ha (17箇所)
		国有林	溪間工	3.0基 (3箇所)
			山腹工	1.08ha (7箇所)
			地すべり防止工	0.10ha (1箇所)
			運搬路（補修）	325m (1箇所)

静岡森林管理署 民有林直轄治山事業箇所

市町	工事箇所名	工種
小山町	綱山1	山腹工
	綱山6外	山腹・溪間工
	角取山5外	山腹工
	大御神2	山腹工
	奥の沢川7外	溪間工

大井川治山センター 民有林直轄治山事業箇所

市町	工事箇所名	工種
静岡市	二軒小屋	山腹工
	東河内	溪間工
	小河内	溪間工 山腹工
川根本町	ホーキ薙	山腹工
	東沢	山腹工
	北の沢	山腹工
	大札北沢	山腹工

小山町での治山事業（民有林直轄治山事業）

小山町では、平成22年の大型台風により大規模な災害が発生しました。静岡県からの要請を受け、平成27年度から小山町内の民有林において民有林直轄治山事業を実施しています。令和8年度も隣接している国有林との復旧を一体的に実施します。



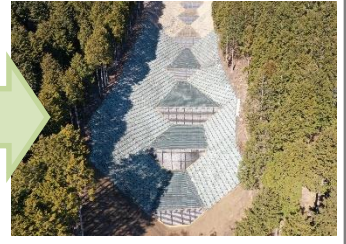
角取山工区・整備前



整備後



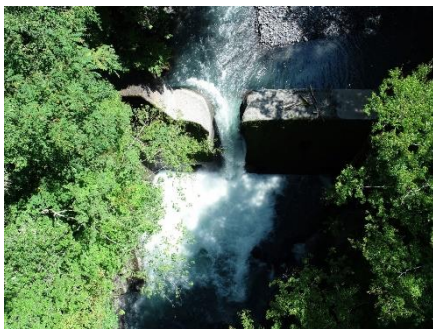
大御神工区・整備前



整備後

浜松市天竜区門桁沢地区での治山事業（国有林治山事業）

遠州灘に注ぐ天竜川支流気田川の最上流部の浜松市天竜区水窪町地頭方国有林と民有林の境界付近に既設されたコンクリート堰堤工が、長年の流水及び細かい土砂によりコンクリートを摩耗したことから、機能回復のための補修工事を実施しました。令和8年度も管内の国有林で計画的に復旧工事を実施します。



整備前



整備後

（天竜署：浜松市 門桁沢地区）

河津川荻野入地区での治山事業（国有林治山事業）

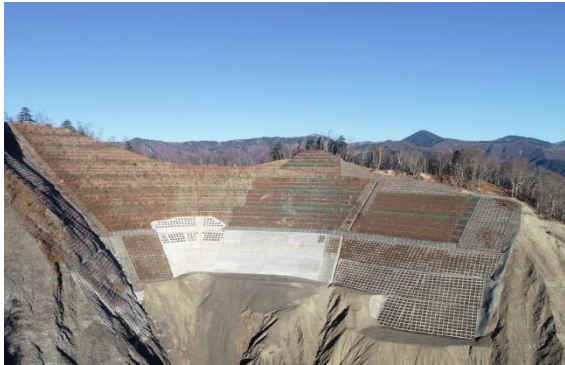
令和4年4月の豪雨により河津町内の国有林において山腹崩壊が発生し、下流へ流出した土砂が農地へ被害を及ぼすなどの災害が発生したことから、令和5年度から治山工事を実施しています。引き続き令和8年度においても溪間工及び山腹工を実施します。



（伊豆署：河津町梨本 荻野入地区）

大井川治山センターによる治山事業 （民有林直轄治山事業）

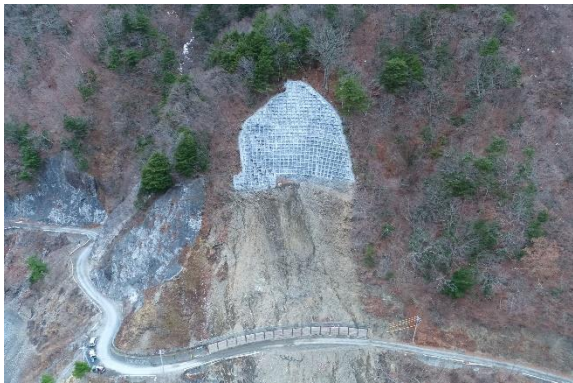
大井川上流域の地質は、糸魚川ー静岡構造線（フォッサマグナの西端）と中央構造線に挟まれた極めて脆弱な地質となっている上、気象的な要因から風化浸食が顕著で、全国屈指の荒廃地の多い地域となっています。このため、民有林の大規模な崩壊地の復旧を図るため、静岡県からの要請を受け、昭和41年度から大井川地区の直轄治山事業に着手し、平成13年度に榛原川区域を事業区域に加え、「大井川治山センター」として事業を実施しています。



川根本町榛原川区域 ホーキ薙 （山腹工）



静岡市井川湖上流区域 東河内（溪間工）



施工状況 H27（2015）



復旧状況 R8（2026）

静岡市畑薙湖上流区域 聖沢（山腹工）

森林土木工事における木材利用

治山・林道工事において、地球温暖化の防止にも貢献する木材利用の取組を推進します。

例えば、コンクリート型枠は間伐材を使った残存丸太や合板とするほか、丸太筋工や木製法枠工等、また、工事看板や現場事務所等の仮設物についても木材を積極的に利用します。



木製土留工
（静岡署：小山町）



丸太筋工
（天竜署：浜松市）



丸太残存型枠工
（伊豆署：河津町）



丸太筋工
（大井川治山センター
：川根本町）

③ 森林生態系の保護・管理

- 我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林や地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を「保護林」に設定しています。

保護林一覧

保護林の区分	対象	名称（森林管理署）
森林生態系保護地域 1箇所 3,248ha	我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林	南アルプス南部光岳（てかりだけ）（静岡・天竜）
生物群集保護林 3箇所 2,467ha	地域固有の生物群落を有する森林	愛鷹山（あしたかやま）、富士山（静岡） 八丁池・皮子平（はっちょういけ・かわこだら）（伊豆）
希少個体群保護林 18箇所 517ha	希少な野生生物の生育・生息に必要な森林	安部峠オオイタヤマメイゲツ、富士山堀塚（とやづか）ウラジロモミ、富士山六番ブナ（静岡） 浄蓮（じょうれん）ウラジログシ・アカガシ、皮子沢モミ、長九郎シャクナゲ、寒天モミ、しらぬたの池モミ・スギ等（伊豆） 岩岳山（いわたけさん）アカヤシオ・シロヤシオ、瀬尻ホソバシャクナゲ、川上ツガ・ハリモミ、京丸山キョウマルシャクナゲ、本坂峠ヤブツバキ等（天竜）

太平洋側気候の影響を受けた落葉広葉樹林であり、アシタカツツジの群生地



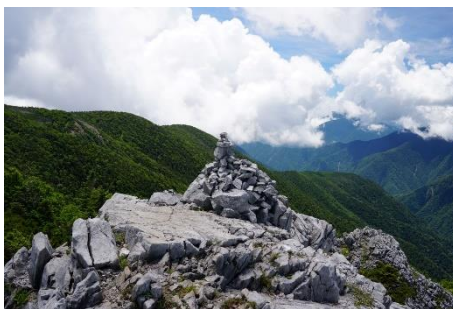
愛鷹山（静岡署：裾野市）

八丁池周辺及び皮子平周辺のブナ群落には多くのヒメシャラが生育しており、全国的にも希少なブナ群落



八丁池・皮子平（伊豆署：伊豆市）

モミ、スギ等の針葉樹とケヤキ等の広葉樹が混交する天然林で原生的な状態を保ち、しらぬたの池はモリアオガエルの生息地としても知られ、静岡県天然記念物「しらぬたの池とその周辺の生物相」に指定された地域

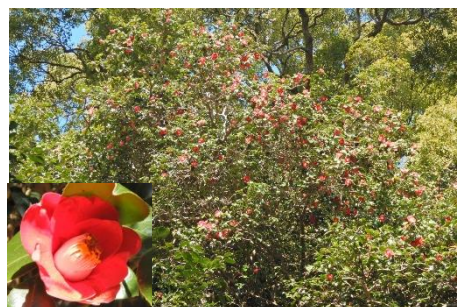


南アルプス南部光岳（静岡署：川根本町）

樹齢200年以上に及ぶ、ヤブツバキの群生地
姫街道（本坂通）のツバキの原生林となっており、開花は10月～4月



しらぬたの池モミ・スギ（伊豆署：東伊豆町）



本坂峠ヤブツバキ（天竜署：浜松市）

○ 森林の厳格な保護・管理を行うとともに、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施しています。

保護林等のモニタリング調査

国有林内に設置されている保護林及び緑の回廊の適切な保護・管理に資するため、5年間隔でモニタリング調査を実施しています。天竜森林管理署では、毎年、瀬尻ホソバシャクナゲ希少個体群保護林等の巡視を実施しています。



皮子沢モミ（伊豆署：伊豆市）



長九郎シャクナゲ（伊豆署：松崎町）



モニタリング調査等の実施状況

○ 森林管理における生物多様性保全の取組として、保護樹帯への影響の最小化、溪畔林等の保全、広葉樹、保残木、枯損木、樹洞木の保残により生物多様性が高い貴重な生態系の保全を行っています。

【事例：モザイク状の伐採、溪畔林保護樹帯の育成等】

静岡署の富士山国有林では、約500haのヒノキ人工林が伐採適期を迎えることから、次世代の森林の多様性を高めるため、以下のとおり林齢の異なる人工林への誘導や広葉樹の導入などを計画的に進めています。

- ・主伐、再造林をモザイク状に実施しています。
 - ・人工林のヒノキの伐採後は、沢沿いの一部を現地固有の広葉樹に樹種転換するなど溪畔林保護樹帯を育成し、生物多様性の保全等の向上を図っています。
- 令和8年度は、ケヤキを0.56haに1,680本植栽する予定です。



伐採時の保残木の状況（富士山国有林）



保残木の状況（富士山国有林）

2 森林・林業施策全体の推進への貢献

① 「新しい林業」を目指した取組の推進

- 伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換に向け、国有林を活用した実証・普及の取組を推進します。
- 特定苗木を用いた再造林による成長の旺盛な若い森林の造成を行っています。
- 高効率で生産性が高く、労働安全性が高い「列状間伐」やコンテナ苗の導入、下刈りの省力化など林業の低コスト化・省力化に向けた技術を積極的に導入します。

優れた苗木の植栽試験

静岡県と天竜森林管理署では、令和4年1月17日付けで「森林・林業・木材産業の試験研究・技術開発等に係る関東森林管理局 天竜森林管理署と静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センターの連携・協力に関する協定書」を締結しており、国有林のフィールドを活用して「試験研究・技術開発のための試験地」の設置を行っています。

無花粉スギの試験地を現在5箇所設けており、成長、材質等の調査を30年生ころまで実施することとし、今後の森林育成に寄与するデータの集積を行っています。



10年生の無花粉スギ
(天竜署：浜松市)

早生樹を活用した「新しい林業」に関する取組

国有林では、昭和30年代に木材の増産を目的として、テーダマツ等の早生樹が各地で植栽されました。テーダマツは成長が非常に早く30年程度で伐採可能であり、シカ被害も受けにくいという特性を持っています。近年では合板に利用するための取組も進められています。

伐採から再造林・保育に至るまでの林業経営コストの低減に向けた取組の一つとして、テーダマツの伐採後の天然更新、獣害対策及び管理手法等の試験研究を進めていきます。

【テーダマツの現地検討会実施状況（静岡署：島田市）】



植栽方法について説明



参加者による植栽



植栽後の様子

超緩効性肥料を用いたエリートツリー等コンテナ苗の活用

林野庁では、全国共通の技術開発の課題として、植栽後も効果を発揮する超緩効性肥料を用いた特定苗木の成長促進効果、植栽適地等の検証（令和7年度から令和12年度）を行うとともに、5年後の実用化を念頭に再生林の低コスト化の可能性について検証を行うこととしており、富士山国有林が試験地の一つに設定されています。令和8年度は、植栽した特定苗木の調査等を進めていきます。

令和7年度

植栽（試験地基礎調査を含む。）

調査（競合植生調査、苗木の成長量調査、林況写真撮影、ドローン空撮）

令和8年度

調査（競合植生調査、苗木の成長量調査、林況写真撮影、ドローン空撮）



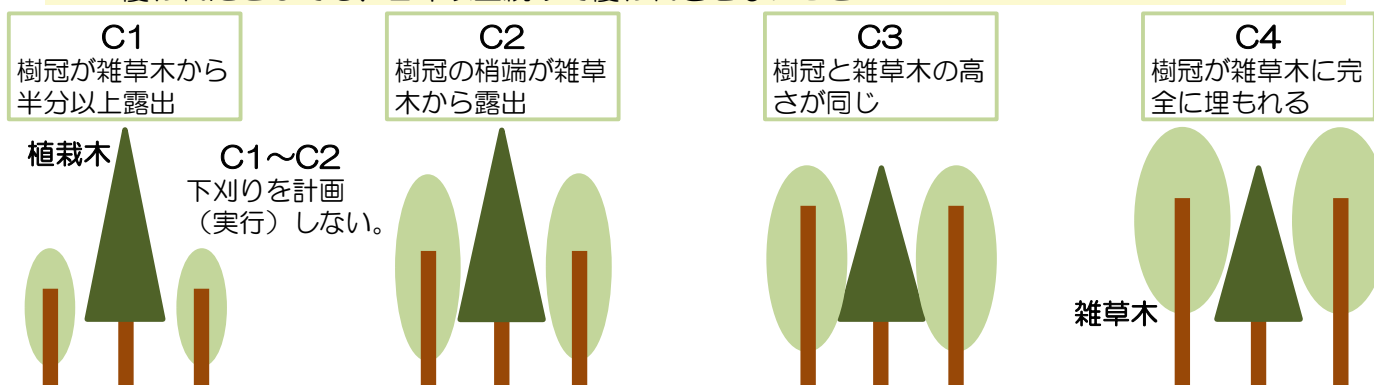
超緩効性肥料の散布状況

下刈り回数の見直し

植栽木と雑草木の競合状態を区分（C1～C4）分けて観察し、必要な場合のみ下刈りを実施し下刈り回数削減の取組を進めています。今後、現地踏査による把握からドローンを用いた植栽木と競合植生の状態の把握が可能か検討を行います。

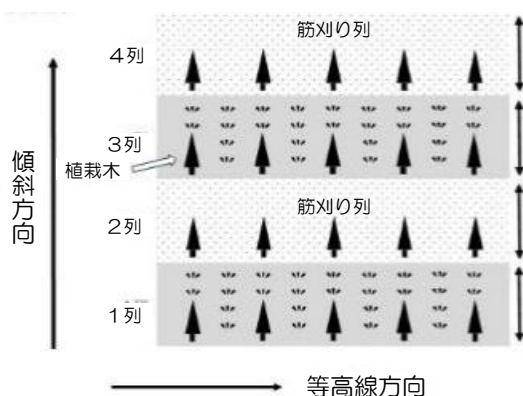
【下刈り省略の判断基準（下刈りを計画する前年度の下刈り実施前における造林木と雑草木の競合状態に次年度までの造林木の樹高成長を見込んで行う。）】

- ・造林木の梢端が雑草木に覆われないこと
- ・覆われたとしても、2年以上続けて覆われさせないこと



下刈り作業の省力化

従来の下刈り（全刈り）は林地全体に対して下草をすべて刈払う方法により実施していますが、筋刈りは苗木と苗木に挟まれた部分を交互に刈払い、刈払い量を少なくすることで省力化を図る取組です。令和8年度においても引き続き実施し、効果等を検証していきます。



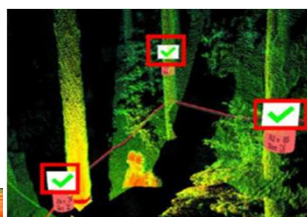
筋刈り実施風景

OWL（地上型3Dレーザースキャナ）の導入

- ・収穫調査（製品生産箇所）に活用。
- ・従来の輪尺、測竿（測高器を含む）の人力計測、人力集計から赤外線レーザーによる計測、パソコンソフトによる解析・集計ができることから、省力化が図られます。



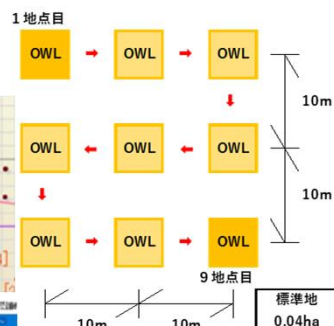
OWLによる
収穫調査風景



パソコンソフト
による
解析状況

測点番号	測点名称	樹高	直径	傾斜	方位	距離	方位	方位	方位
001.0	木立	1.0m	10cm	0°	0°	0.0m	0°	0°	0°
002.0	木立	1.0m	10cm	0°	0°	0.0m	0°	0°	0°
003.0	木立	1.0m	10cm	0°	0°	0.0m	0°	0°	0°
004.0	木立	1.0m	10cm	0°	0°	0.0m	0°	0°	0°
005.0	木立	1.0m	10cm	0°	0°	0.0m	0°	0°	0°

スキャン地点の決め方・順番
（横移動の一筆書きスキャン）



GNSS（衛星測位システム）の導入

【GNSS活用シーン】

- ・現場基準局、基準点測量、現況測量・杭探し、森林測量、境界巡検（確認、測量）など
- ・ポイント、トラックの記録で幅広く森林測量に活用できる。

【GNSS活用効果】

- ・測量線の刈払いを行わず、測量できることから省力化が図られます。



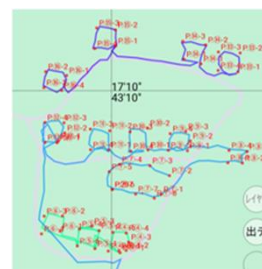
測量用
アンテナ
受信機



アンテナ
ポール



測量風景



測量結果

国土地理院 1級GNSS測量機

森林土木工事におけるICTの活用

【ICT活用内容】

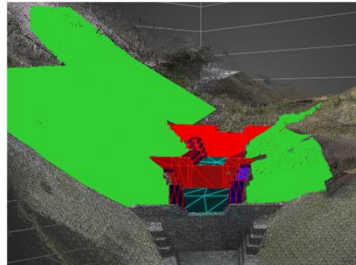
- ・地上型レーザースキャナーによる3次元起工測量
- ・3次元設計データ作成（建設システム SITEC 3D 2024）
- ・ICT建設機械（0.25m3BH_PC78US、杭北 LN-150）を活用した施工（進入路作設、床掘）

【ICT活用効果】

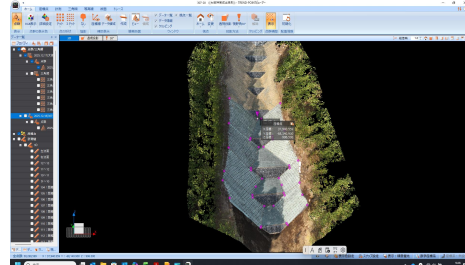
- ・3次元起工測量、マシンガイダンスによる床掘により施工（作業）時間の短縮
- ・丁張の設置手間の省力化、床掘時の変化地点及び掘勾配の確認手間の省力化
- ・作業員（測量班）の安全確保が図られ、出来形管理の省力化、精度の向上



杭北 LN-150を活用した床掘（林道）



点群データと構造物配置計画（治山）



3次元データの作成（治山）

静岡県内の森林管理署におけるニホンジカ対策

富士、天竜、伊豆地域等の各地において、ニホンジカの食害による植林木の成長阻害や枯死、下層植生の衰退等の森林被害が深刻化しています。このため、国有林ではシカの侵入を防ぐ柵の設置や個体数管理（捕獲）を県や市町、関係団体等と連携して推進しています。

	静岡署	天竜署	伊豆署
捕獲	・くくり罠（委託と職員実行） ・忍び罠（委託） ・委託事業を富士山国有林で実施 ・職員実行を富士山・愛鷹山国有林で実施	・くくり罠（委託と職員実行） ・委託事業を引佐地区及び只木地区の国有林において実施 ・職員実行を瀬尻国有林で実施	・くくり罠（委託と職員実行） ・委託事業を西伊豆町の国有林において実施 ・職員実行を伊豆市、熱海市、松崎町、河津町内の国有林において実施 ・山葵組合等へのワナ貸出
防除 (注1)	・金属柵 ・硬質ステンレス入りネット柵 ・枝条柵	・硬質ステンレス入り縦張りネット柵（天竜の急峻な地形に即していると判断）	・金属柵 ・硬質ステンレス入りネット柵
主な取組	・硬質ステンレス入りネット柵の導入 ・防護柵の種類別の効果、コストを比較 ・金属柵の低コスト化（支柱間隔の拡大） ・ICT・UAVを活用した防護柵見回りの省力化 ・立木を利用した防護柵 ・センサーカメラ（4G）を用いた効率的で安全な捕獲の実施 ・シカが低密度化してきた区域での柵外植付の検証 ・捕獲個体残渣減容化処理容器の使用 ・瞬間サンプリング法によるシカの生息状況の調査	・硬質ステンレス入りのネット柵の活用 ・シカ柵点検 ・瞬間サンプリング法によるシカの生息状況の調査	・自動感知システム（LPWA）を活用した見回りの効率化 ・防護柵の種類別の効果、コストを比較 ・金属柵の低コスト化（支柱間隔の拡大、素材の軽量化） ・立木を利用した防護柵 ・新たな捕獲手法（小林式・竹内式）の普及・啓発 ・瞬間サンプリング法によるシカの生息状況の調査

注1：静岡署では、単木でのチューブラー（植栽木の保護）やパークガード（樹皮剥ぎの防止）による防除も実施しています。

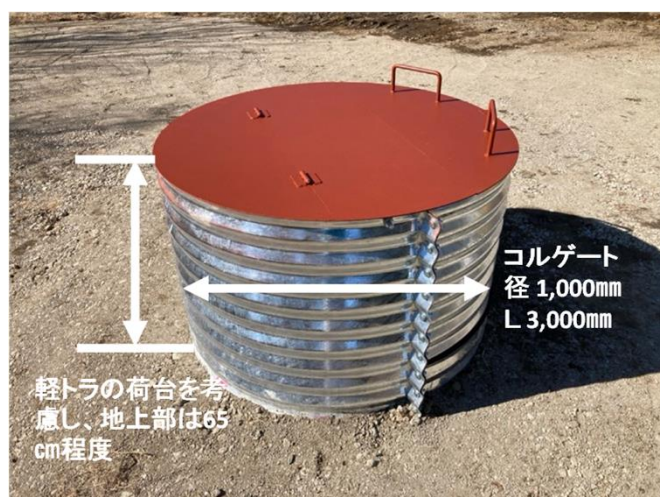
捕獲後の処理の効率化に向けた取組

駆除されたニホンジカは、通常、現地での埋設や焼却施設等で処理されますが、時間と労力等を要することが課題となっています。

このため、「捕獲個体残渣（ざんさ）減容化処理容器」を富士山国有林内に設置し、減容等の効果を検証しています。

従来の直接地面に穴を掘る集埋設と比べ、発酵補助剤の投入により早く分解・減容化され、多くの個体処理が可能となるほか、蓋の設置によりクマ等の鳥獣類による残渣持ち去り防止、周辺への臭気低減等の効果も期待されます。

令和8年度は、引き続き検証を実施し、関係機関等への情報発信を行っていきます。



捕獲個体残渣減容化処理容器
（富士宮市：静岡森林管理署）

瞬間サンプリング法（Instantaneous Sampling）によるシカの生息状況の調査

「ニホンジカ被害対策に係る協定」に基づき森林総合研究所と連携して、その地域でのシカの生息状況（密度）をリアルタイムで把握する「瞬間サンプリング法（※）」による調査を行い、シカ捕獲効果を検証します。

※ 一定の区域に仕掛けた複数のカメラにより一定間隔で撮影を行い、撮影されたシカの頭数と面積から生息密度を推計する方法

瞬間サンプリング法（IS）法によるシカ生息密度の調査マニュアル

<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/policy/business/hogozigyou/naragare.html>



A I による動物の判別（瞬間サンプリング法）
（東伊豆町：伊豆森林管理署）

ノウサギ被害防除のための防護柵設置の取組

新植地において、シカ柵の網目のすき間からノウサギが侵入し植栽した苗木が食べられるといった被害が顕在化していることから、ノウサギ対策としてノウサギ用防護ネットを設置しています。また、センサーカメラにより生息状況を確認し、職員実行によるノウサギ捕獲を試行的に実施しています。



センサーカメラで撮影されたノウサギ



センサーカメラで撮影されたノウサギ



箱わなの設置状況

ノネズミ害に対する取組

新植地において、剥皮により苗木が枯死する被害が発生しています。ノネズミによる被害と判明したことから、予察を実施し、生息状況の把握を行うとともに、殺鼠剤（リン化亜鉛 1%）散布による対策を実施しています。



予察ワナの設置状況



ノネズミの予察捕獲



殺鼠剤（小袋入り5g）

森林病害虫に対する取組

全国的にナラ枯れ被害が発生する中、県内の国有林におけるナラ枯れ被害の防止のため、関係機関と連携し、地域が一体となった対策に継続して取り組みます。

林野巡視やナラ枯れ被害調査強化月間のパトロール等により枯損状況を目視調査、経過観察を実施するとともに、情報の共有にも取り組みます。



ナラ枯れが発生した林分



伐倒整理状況

② 木材の安定供給

○ 木材を計画的・安定的に供給することにより、地域の林業・木材産業の活性化に貢献します。

立木販売（公売）

立木販売（公売）の予定や結果をホームページ上で公表し、地域における取引価格形成に寄与します。

森林管理署	令和7年度実績	令和8年度予定
静岡署	5,758m ³	47,874m ³
天竜署	12,716m ³	11,442m ³
伊豆署	0m ³	92,940m ³
計	18,473m ³	152,256m ³



伐採状況（静岡署：御殿場市）

生産事業・製品販売

国産材の需要拡大等に取り組む製材工場等とシステム販売協定を締結し、当該協定者に対する安定的・計画的な素材の供給に取り組みます。

森林管理署	件数	実施箇所
静岡署	4	桑木地区、上井出地区、富士山地区、大洞山地区
天竜署	3	瀬尻地区、京丸地区、大知波地区
伊豆署	2	仁科地区、菅引地区

森林管理署	令和7年度実績		令和8年度予定	
	素材生産量（m ³ ）	うちシステム販売量	素材生産量（m ³ ）	うちシステム販売量
静岡署	10,328	6,678	13,000	11,700
天竜署	3,390	2,473	11,470	3,570
伊豆署	4,847	4,057	13,000	8,800
計	18,5652	13,208	37,470	24,070



生産事業（伊豆署：松崎町）



山土場（静岡署：富士宮市）

③ 民有林との一体的な森林整備の推進

- 国有林と民有林が連携することで事業の効率化や低コスト化等を図ることができる地域において、「森林共同施業団地」を設定しています。これにより、路網の相互利用や国有林材と民有林材の協調出荷等が図られ、民有林のコストの縮減や安定的な収入確保につながることを期待できます。

森林整備推進協定（森林共同施業団地の設定）

協定名	協定期間	協定者	協定内容
富士山西麓地域森林整備推進協定	R8.4.1～R13.3.31 (5年間) 第3期	・富士宮市 ・上井出財産区 ・富士農林事務所 ・日本製紙（株） ・静岡森林管理署	・作業路網等の整備による効率的施業の推進 ・主伐再造林の促進や地域材の利用拡大 ・シカ等の野生動物被害の防止等
小山町森林整備推進協定	R8.4.1～R13.3.31 (5年間) 第3期	・小山町 ・東部農林事務所 ・静岡森林管理署	・作業路網等の整備による効率的施業の推進 ・間伐材等の生産や地域材の利用拡大 ・シカ等の野生動物被害の防止等
黒俣地域森林整備推進協定	R6.4.1～R11.3.31 (5年間) 第3期	・掛川市 ・遠州みらい森林組合（旧掛川市森林組合） ・天竜森林管理署	・路網の連結による搬出コスト等の縮減 ・掛川市森林組合の土場を中間土場として利用
伊豆地域森林整備推進協定	R4.4.1～R9.3.31 (5年間) 第4期	・賀茂農林事務所 ・森林整備センター 静岡 ・水源林整備事務所 ・いなすさ林業 ・伊豆森林管理署	・作業路網等の整備による効率的施業の推進 ・間伐材等の促進や地域材の利用拡大 ・シカ等の野生動物被害の防止等



富士山西麓地域におけるストックヤード（上井出集積土場）
（静岡署：富士宮市）



黒俣地域における国有林内に作設されたストックヤード
（天竜署：掛川市）



小山町における民有地での林道改良工事
（静岡署：小山町）



国有林林業専用道から延長された民有林作業道
（伊豆署：松崎町）

3 「国民の森林」^{もり}としての管理経営

① 「レクリエーションの森」の活用の推進

- 川根本町の「飛竜橋自然観察教育林」、「千石平風致探勝林」、浜松市浜名区の「奥浜名自然休養林」が「日本美しの森お薦め国有林」^{にっぽんうつく}となっています。
- これらの地域は特に魅力的な自然景観を有していることから、観光資源としての魅力の情報発信や修景伐採などを行い、地域振興への貢献に努めています。

レクリエーションの森の整備

レク森の種類	名称
自然休養林 3箇所 3,977ha	富士山（静岡署）、奥浜名（天竜署）、昭和の森・天城山（伊豆署）
森林スポーツ林 1箇所 33ha	観音山（天竜署）
自然観察教育林 2箇所 294ha	飛竜橋（静岡署）、小笠山（天竜署）
風致探勝林 1箇所 265ha	千石平（静岡署）

奥浜名自然休養林 林野庁HP【日本美しの森 お薦め国有林】

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/okuhamana.html

飛竜橋自然観察教育林及び千石平風致探勝林 林野庁HP【「日本美しの森 お薦め国有林」の魅力あふれる映像】

https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/190823.html



昭和の森・天城山自然休養林 浄蓮の滝
（伊豆署：伊豆市）



観音山森林スポーツ林 つどいのひろば
（天竜署：浜松市）



飛竜橋自然観察教育林 夢の吊り橋
（静岡署：川根本町）



千石平風致探勝林
（静岡署：川根本町）

② 国民参加の森林づくり、森林環境教育の推進

- 国有林を森林づくりのフィールドとして提供し、国民の皆様による森林づくり活動や森林環境教育を推進します。

国民参加の森林づくり

企業や市民団体等の多くの方々により、国有林をフィールドとした森林づくりや森林環境教育等が行われています。



社会貢献の森（ブナ林創造事業）
（左：長官感謝状の贈呈 右：大きく成長したブナ（静岡署））

遊々の森（富士山麓ブナ林創造事業）
（静岡署：富士市）

森林環境教育の推進

森林教室や森林内での体験活動等を通じて、森林・林業や国有林野事業への理解が深まるよう、森林環境教育の機会を子供たちをはじめ広く国民の皆様を提供する取組を進めています。



川根本町産業文化祭
（大井川治山センター：川根本町）



浜松市花と緑の祭典
（天竜署：浜松市）

令和8年度
10月17～18日
開催予定



③ 国有林野事業の推進に関する 情報受発信

- 地元自治体との会議、業務打合せ、現地検討会等の機会、またホームページ等を通じて、国有林野事業の取組に関する情報の発信・共有を行っています。
- 一方、会議等様々な機会を通じて寄せられた「現場の声」を受けとめながら、国有林の管理経営に反映していきます。



森林計画に関する意見交換会
（静岡県、森林整備センター、熱海市、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、下田市、河津町、南伊豆町、山葵組合、森林組合等、伊豆署）



リスクアセスメント講習会
（静岡県、浜松市等、林業事業体、天竜署）



シカ被害対策に関する現地検討会
（環境省、県、市町ほか、静岡署）

○ 令和8年度静岡県内国有林の主要事業量

森林管理署名	市町名	伐採量 (m ³) ※立木販売			素材生産量 (m ³)	造林 (ha)			林業専用道新設 (m)
		合計	うち主伐	うち間伐		植付	下刈り	保育間伐	
静岡	静岡市								
	沼津市	7,945	7,945			1.73	2.93		
	富士宮市	9,175	9,175		10,495	17.55	23.37	68.14	340
	島田市	10,835	10,835			7.87	21.85		
	富士市	1,382	1,382			11.05	15.19		
	御殿場市	1,556	1,556		420	7.82	12.76	6.76	
	裾野市					3.46	5.39		
	長泉町								
	小山町	1,589	1,589		2,085		16.42	26.95	
	川根本町	15,392	15,392				1.59		
	小計	47,874	47,874		13,000	49.48	99.50	101.85	340
天竜	浜松市	11,442	11,442		8,960	15.07	40.01	72.83	
	湖西市				710		2.13		
	掛川市				1,800			12.46	
	袋井市								
	森町								
	小計	11,442	11,442		11,470	15.07	42.14	85.29	
伊豆	伊豆市	24,662	24,662		1,300	11.96	14.74	4.74	220
	熱海市	4,234	4,234						
	河津町	64,044	64,044		1,085		10.06	8.94	
	松崎町								
	東伊豆町				3,315			2.19	
	西伊豆町				7,300			37.32	
	小計	92,940	92,940		13,000	11.96	24.80	53.19	220
計		152,256	152,256	0	37,470	76.51	166.44	240.33	560

注：事業量には令和7年度補正・繰越し分を含む。

伐採量については、分収育林、分収造林、官行造林地の伐採量を含む。

植付けには補植等を含む。

保育間伐には治山費による本数調整伐を含む。

○ 静岡県内の国有林の森林

署名	管内の国有林面積（ha）			人工林率 （％）	国有林所在市町
	合計	うち 人工林	うち 天然林等		
静岡	48,673	15,892	32,781	33	静岡市・沼津市・富士宮市・島田市・富士市 御殿場市・裾野市・長泉町・小山町・川根本町
天竜	22,558	10,339	12,220	46	浜松市・掛川市・袋井市・湖西市・森町
伊豆	17,357	12,285	5,072	71	熱海市・伊東市・下田市・伊豆市・伊豆の国市 東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町
計	88,588	38,515	50,073	43	

注：他省庁所管森林を除き、官行造林地含む面積。天然林等には無立木地を含む。地域別の森林計画書より。

（参考）静岡県の森林面積

森林面積（ha）			国有林率 （%）		
民有林	国有林	計			
406,982	89,334	496,316			
うち人工林面積（ha）			人工林率（%）		
民有林	国有林	計	民有林	国有林	計
239,467	38,802	278,269	59	43	56

注：国有林は他省庁所管森林を含む面積。林野庁「森林資源の現況【令和4年3月31日現在】」より。

○ 森林管理署等の所在地及び連絡先

管理署等名	所在地	連絡先
静岡森林管理署	〒 420-0856 静岡市葵区駿府町1-120	TEL : 054-254-3401 (IP) 050-3160-6015 E-mail : ks_shizuoka_postmaster@maff.go.jp http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/sizuoka/index.html
天竜森林管理署	〒 434-0012 浜松市浜名区中瀬2663-1	TEL : 053-588-5591 (IP) 050-3160-5670 E-mail : ks_tenryuu_postmaster@maff.go.jp http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tenryu/index.html
伊豆森林管理署	〒 410-2401 伊豆市牧之郷546-5	TEL : 0558-74-2522 (IP) 050-3160-6020 E-mail : ks_izu_postmaster@maff.go.jp http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/izu/index.html
大井川 治山センター	〒 428-0411 榛原郡川根本町千頭950-2	TEL : 0547-59-3344 E-mail : ks_ooigawa_postmaster@maff.go.jp http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/tisan/index.html